

全国の鉄道で運転士不足問題について！

2月2日国土交通省主催の、運転士確保に向けた緊急連絡会議が行われました。140の事業者のうち運転士が不足している事業者は半数を示しています。ちなみにJRなど大手は32事業者で7事業者でした。

今後の対策として「年齢制限の引き下げ（20歳から18歳へ）」「自動運転化の促進」「外国人材の活用（特定技能に鉄道分野の追加）」等を検討項目に挙げています。

もう一つの「運転士不足問題」！

職場で「年休が取得できない」「休日呼び出しで対応」等の要員問題について、この間交渉で追求してきましたが、今回、大分支社・鹿児島支社管内で運転士が足りないとして転勤問題が発生しています。

要因として、「社員の離職」や4月から実施される人事賃金制度の改正による「エリア限定制度」へ申請する運転士対応とされています。

エリア限定の対応として、転勤には問題があります。会社は「必要な要員は確保している」とし、要員問題を解決してこなかったことにあります。本部は、「要員問題」「運転士の労働条件改善」に向け取り組んでいきます。